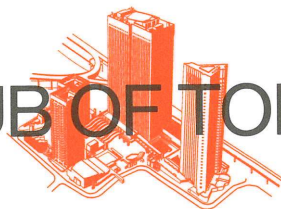




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Sow the Seeds of Love

「ロータリー：慈愛の種を播きましょう」

「ロータリーで喜びを！—参加しよう、友達になろう、クラブライフを楽しもう—」

2002～2003年度・国際ロータリーテーマ／ピチャイ・ラタクル会長

2002～2003年度・東京新南ロータリークラブテーマ／吉田用親会長

【本日の例会】1月24日 第778回例会

◎第4回クラブ協議会

「各委員会上半期活動報告と下半期活動計画」
(拡大委員会を重点に)

(例会後13:10～14:30)

【先週報告】1月17日 第777回例会

◎卓話 「あすへの話題 —日本は大丈夫か—」

前東宮大夫 古川 清 氏
(紹介者 立林会員)



◎幹事報告

- ①下半期会費の請求書をBoxに入れましたので、2月中にはご入金お願いします。
- ②来週、第4回クラブ協議会が開かれます。各委員会の委員長より「報告書・計画書」を提出頂き、有難うございました。
- ③2003～2004年度版「全国ロータリークラブ会員名簿」の校正を行っております。事業所、役職、ご住所等に変更がおりの方は至急事務局へお申し出ください。

◎親睦委員会報告 (福島委員長)

昨年暮れに入会されました西澤さん、塚田さんの奥様にバラをお送りしました。

4月12、13日に一泊の親睦旅行会を予定しています。

◎出席委員会 (清原委員長)

12月の出席率77.72パーセントでした。メイクアップの活用をぜひお願いいたします。

◎元青少年交換留学生来日



3年前にオーストラリアから青少年交換留学生として来日、当クラブで1年間お世話したMadelyne de Boerさんが来日し、下記の挨拶を致しました。

「皆さんお久しぶりです。私は去年の12月に高校を卒業し、今年の3月に大学に入学します。まだ具体的には決めていませんが、大学ではオーストラリアの政治経済を勉強しようと考えています。もちろん日本語の勉強も続けて行きたいと思います。日本では留学時代の友達に会いたいと思っています。今回は小杉眞史さん宅にお世話になっています。石坂さんをはじめホスト及びホストファミリー、新南RCの皆さん本当に有難うございました。」

◎慶事披露

お誕生日祝い／荻野道雄君(1月7日)、吉田武君(1月10日)

◎出席報告

会員65名／出席42名・欠席23名(出席規定免除者9名)
ビジター4名、ゲスト1名(Madelyne de Boer／元青少年交換学生)



1月17日／10件 20,000円

2002年～2003年度累計 928,643円

多額のご寄付有難うございました。

立林英昭／古川先生本日の卓話よろしくお願ひします。吉田用親／遅遅ですが、「明けましておめでとうございませう」。先週の欠席お詫びします。小杉眞史／マディが2年ぶりに日本に来ました。お世話になった会員の皆様にご挨拶しますので宜しく。清原元輔／昨日のロータリー研究会、多数の方のご参加有難うございました。尾関武男／年初例会欠席いたしました。申し訳ありません。今年も宜しくお願ひします。福島賢哉／寒さもこれからが本番です。どうぞお体大切に。高須康有／新年初例会欠席してしまいました。皆様今年もどうぞ宜しくお願ひ致します。西澤正雄／マディさん、ようこそいらっしゃいました。ご活躍で何よりと存じ上げます。吉田武／青木さん、ニコニコご苦労様です、私は53回の誕生日です。有難うございます。青木政明／明けましておめでとうございませう。

お知らせ

744号の週報に載った田村昭二会員の住所が間違っていましたので、次の通り訂正します。

〒170-0012 豊島区上池袋3-22-10 (上池袋の“上”が抜けていました)

2750地区千代田グループ予選ゴルフ会 出場者募集

(日 時) 3月19日(水)

(場 所) 霞ヶ関カンツリー倶楽部 東コース

(出場者) 各クラブ1チーム6名

(オフィシャルハンデキャップ24までの方)

(費 用) 当日のプレイ費、昼食代等は各自負担

(ホストクラブ) 東京銀座新ロータリークラブ

※ご出場申込みは1月31日までに親睦活動委員会までお申し出下さい。

1月16日(木)午後4時より全日空ホテル1F「ありあけ」で、本年度第2回目の「ロータリー研究会」が14人の出席者を集めて開催された。研究会世話役の清原会員より、現在日本で行われている試験的プロジェクトに関し、同プロジェクト日本代表の川尻PGが作成した11ページに及ぶ資料を基に説明がなされ、それに対する活発な質疑応答が行われた。現在19カ国で190の試験的プロジェクトが行われているが、日本では3つ(足利東RC、春日部RC、東京高輪RC)しか行われていないのはどうした訳か、日本で行われている3つの試験的プロジェクトも会費の値下げや例会数削減、委員会の整理統合などであり、それ程革新的な変化は見られないなどの意見が強く記憶に残った。他クラブでの会員数減少対策に関して、柴本会員(たまプラーザRCの例)や小杉(眞)増強委員長から事例紹介や意見が述べられた。久し振りに日本復帰を飾った渡部会員からは、USのロータリークラブの例として、ビジターフィーは\$10台、年会費は\$500から\$700程度、出席義務も緩やか、などの紹介があった。最後に、まとめの上手な小杉(眞)会員の締めくくりで研究会を終え、5時半から新年会に移った。新年会でも活発な意見交換が行われ、あっという間に終了時間の7時半になってしまった。大変有意義な3時間半であったが、惜しむらくは若手会員の参加が少なかったことである。次回からは、より多くの若手会員の参加を期待したいものである。(圓谷 記)

出席者：清水、西澤(正)、柴本、渡部、小杉(修)、清原、村山、小杉(眞)、武下、開発、大日方、渡邊、馬場、圓谷(順不同・敬称略)



「消えていった物売り」森義利の下町図絵を見て

版画家森義利は六代続いた魚問屋の倅として、明治31年日本橋魚河岸のど真中、本船町に誕生しました。画伯にとって生れ育った隅田川界限の下町には数々の思い出があり多感な少年期の心に深く焼きついた都市景観であったようです。「下町図絵」は、戦前までの下町の風俗、お正月・祭りと市・遊び・町の物売り等を詩情豊に描写しており、我々に古い東京、特に下町の心象風景を思い描かせてくれます。それでは私の記憶にある町の物売りを少々お話ししてみましょう。

昭和20年代頃までは、町には種々雑多な物売りが来ていました。一年中、来ている者もあれば、夏だけの物売り、冬だけ来る商売もありました。いまでも焼芋屋などは昔どおりの売り声で時々通りますが、大半の物売りは町から消えてしまいました。

「豆腐屋」——豆腐屋のラッパの音は、昭和30年代の後半頃まで聞くことが出来ました。その昔は天秤棒で深めの飯台に水を張った中に豆腐が入れられ、それを前後につけて豆腐の他に油揚げや雁もどきも売っていたそうですが、昭和20～30年代はリヤカーや自転車に変わって、引出し付きの木の箱に入れて、「トーフイ」という独特の節まわしの売り声と、ときどきラッパを吹きながら売り歩いていました。

「金魚売り」——夏に来た物売りには、金魚屋と風鈴屋がいました。リヤカーに沢山の金魚の入った水槽を載せて、「金魚屋やア、金魚オ…」と、のどかな声で売っていたものです。

「刃物研ぎ」——刃物研ぎは、昭和30年始めまでは町に来ていたと思います。「ハサミー、ホウチョウ、カミソリ、トギー」と節をつけて、高音の張りのある声で道具の入った木箱を肩にかついで売り歩いていました。「研ぎ屋さんー、この包丁お願い」なんて呼ぶと、「へい」と言って、その家の軒先を借りて、砥石を出して研ぐ商売です。

その他にも、下駄、雪駄などの修理をする「デーデー屋」、「蝙蝠傘直し」、水の洩れる薬缶、鍋、釜をなおす「いかけ屋」、「竹竿売り」、キセルの修理をする「ラオ屋」、「富山の薬売り」等ですが、四季を通じて朝一番早く来るのが「ナット、ナット、ナットー」という呼び声の納豆売りや「アサリィー、シジミィー」というじじみ売りでした。

池波正太郎の小説には江戸の町がよく描かれていますが、森画伯の「少々昔の下町図絵」を観てみると、東京の特に下町の風俗や習慣に江戸の名残りがあったことがよく解ります。しかし時代と共に都市開発の波が街の景観を変えてしまうように、そこで暮らす人々、町の風物詩、古いものは消え、新しいものへ生まれ変わっていくようです。

【次週予告】1月31日 第779回例会

◎卓話予定 インニエーションスピーチ

「企業をつなぐ新しいインターネット時代」

株富士通ビジネスシステム

取締役・東京営業本部長

当クラブ会員 田村 昭二 君

(紹介者 小杉眞史会員)